

事後評価シート

調査研究課題名	経済成長と交通環境負荷に関する研究 I
担当者	山口元総括主任研究官、掛江前総括主任研究官、栗田前主任研究官 小池研究官
①当初目標と目標達成度	定量的な分析を可能とするモデルを構築し、首都圏を対象とした交通基盤整備等の施策が、CO ₂ 排出量や経済成長に及ぼす影響を評価し、当初の目標を達成した。研究会での指摘等を踏まえ、更にモデルを改善、充実していく予定。
②調査研究内容の妥当性	交通体系等に係る各種施策が CO ₂ 排出量に与える影響について、従来は交通市場のみにおいて、評価しているのに対し、本研究では、交通モデルと土地利用モデルが統合されたモデルを用い、施策を実施することによって発生する新たな交通需要である誘発交通を考慮した分析を行った。
③調査研究の仕組みの妥当性	交通・土地利用モデルの研究に取り組んでいる研究機関に外部委託するとともに、交通部門を専門とする学識経験者からなる研究会を設置し、効率的かつ的確な調査研究を進めた。
④成果と活用 (予定)	各種施策の環境負荷への影響、社会経済的影響を定量的に分析することにより、国土交通省としての実施する施策の検討に資する。
⑤その他	OECD 環境政策委員会交通作業部会デカップリングプロジェクト専門家会合 (2003 年 5 月)、応用地域学会研究発表会 (2003 年 12 月) にて発表。 成果報告書として作成し、関係者に配布。
意見	